

## 『たまごの旅人』

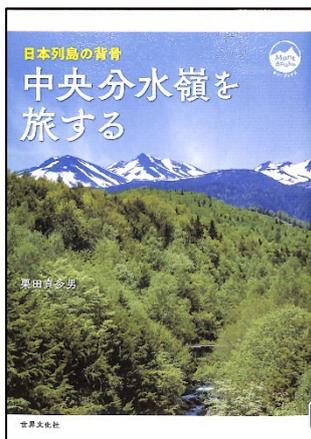
近藤 史恵／著 実業之日本社



新米旅行添乗員、堀田遥の物語。好きで選んだ仕事でも、苦勞はつきもの。ツアー客のわがままに振り回され、一喜一憂しながら奮闘する姿は応援したくなります。風景や街並みに感動する遥を通して、世界を旅する魅力が読者にも伝わってきます。

## 『中央分水嶺を旅する 日本列島の背骨』

栗田 貞多男／著 世界文化ブックス



日本列島において、河川の流域を日本海と太平洋に分ける山々の連なりを「中央分水嶺」と言います。北海道から鹿児島まで、春夏秋冬の絶景を切り取った美しい写真とともに全国72か所が紹介されています。また、山で出会える動植物について書かれたコラムも読み応えがあります。

# 旅



旅行記や小説、絶景を楽しめる本など、旅にまつわる様々なジャンル  
の本を集めてみました。旅が好きなの人も、遠ざかっているという人も、本  
の世界で旅行気分を味わってみませんか。

## 『地球の穴場 仙人の村から飛行船まで』

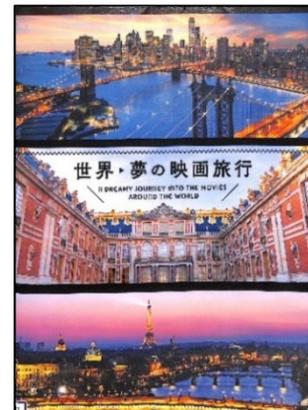
乃南 アサ／著 文藝春秋



北海道でジャガイモの焼酎を作る醸造所の人々、本物の剣で稽古をする京劇の役者、ライオンと戦ったことがあると誇らしげに語るケニアの警察官。この本では、作者が旅行先で出会った人々の活気に満ちあふれた暮らしが、その土地の歴史も交えつつ描かれています。

## 『世界▷夢の映画旅行』

Filmarks／映画選定  
パイインターナショナル／編著  
パイインターナショナル



名作映画55本の舞台となった場所やモデルとなった建物を、「ロマンチックな旅」「ノスタルジックな旅」など、4つのカテゴリに分けて紹介。その作品を象徴するような情景写真は息をのむような美しさです。映画と絶景、両方楽しめる1冊です。

令和5年7月1日開館

郷土長岡のアーカイブ

れきしぶんしょかん

# 長岡市歴史文書館

文書資料室は、旧サンライフ長岡(長倉西町)へ移転し、「長岡市歴史文書館」としてリニューアルオープンします。  
中央図書館から歩いて15分。郷土の歴史文書(古文書等、歴史公文書)を保存・活用する施設を訪ねてみませんか。



## 歴史文書館 施設情報

所在地 〒940-0849

長岡市長倉西町458-7

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 日・月曜日、祝日、年末年始

電話 0258-36-7832

FAX 0258-37-3754



歴史文書館HP

## 学ぶ

～1階は利用者エリア(閲覧・展示室、図書室、講座室)～

歴史文書と参考図書を公開し、調査相談に対応。  
講演会、講座、展示会を開催します。



### ▲長岡市資料整理ボランティア

中越大震災をきっかけに活動を開始。市民協働で資料整理に取り組んでいます。新規メンバーを募集中です。

## 伝える

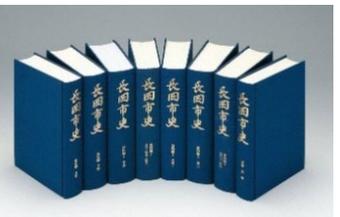
～2・3階は収蔵エリア(書庫、作業室)～

市史編さん室、文書資料室が受け継いできた歴史文書を保存します。



館外施設保管分も含め、約22万点を所蔵しています。ぜひご利用ください。

### ◀第4書庫



### ▲『長岡市史』全8巻

## 究める

～地域の歴史をひもとく施設～

市史双書や機関紙を発行。関係機関・施設・団体と連携して、郷土長岡の歴史を探求します。

県内外の自治体史や研究雑誌を閲覧できます。

## 開館記念イベント

イベントのお知らせ、長岡市資料整理ボランティアの参加申込み、刊行物の購入方法など、長岡市歴史文書館の活動情報の詳細はホームページをご覧ください。

### ◆開館記念講演会(第1回れきぶん講演会)

※受付終了

「長岡はなぜ「長岡」なのかー地名に刻まれた歴史ー」

日時 7/1(土)午後2時～3時30分

講師 田中 聡さん(長岡工業高等専門学校教授)

### ◆古文書解読講座「古文書のいろは」(全3回)

※受付終了

初心者向けの歴史よみとき講座です。

日時 7/12(水)、26(水)、8/9(水)

午後2時～3時30分

講師 歴史文書館・中央図書館の職員



### ◆常設展

所蔵資料や活動を紹介するミニ展示。初公開の小林虎三郎の日記、国漢学校を描いた唯一の絵図を展示します。

第1期「虎三郎と弟・雄七郎」

会期 7/1(土)～7/29(土)

第2期「描かれた国漢学校」

会期 8/1(火)～8/26(土)

第1期は、コラボ企画。関連資料を中央図書館のエントランスギャラリーに展示します。

### ◆連携パネル展「長岡空襲体験画パネル展」

戦後78年。開館20周年の長岡戦災資料館が収集した体験画の複製を展示します。

会期 7/1(土)～8/26(土)

『図書館の窓から』は、昭和58年(1983)に創刊され、今年でちょうど40年となります。創刊号の館長のメッセージは、図書館を利用する市民の立場を徹底的に考え、利用手続きの簡素化や雑誌コーナーの充実を図り、「明るく親しみやすい」「市民の図書館・互尊文庫」を目標としていました。貸出期間を10日間から2週間に変更したのもこの頃です。

当時、長岡市内の図書館は、互尊文庫と移動図書館車1台でしたが、この40年で、図書館8館、移動図書館車2台、取次所7か所に成長しました。市内のどの図書館の資料も取り寄せ・返却ができ、必要があれば、県内・国内の図書館からの相互貸借もできるなど図書館ネットワークも充実しています(市外の場合、送料負担となることもあります)。

今年7月22日には、互尊文庫が米百俵プレスマライエ長岡に移転・オープンします。子どもラボや若者ラボ、産業振興、にぎわい創出など、各機能と密接に連携した運営を行うため、所管は中央図書館ではなく、地方創生推進部ミライエ長岡企画推進室となりますが、新たな図書館サービスを提供できると期待しています。

今年4月、村上春樹さんの6年振りの新作長編が出版され、図書館でも多数の予約が入り好評です。その村上さん

は、昭和61年(1986)出版の『ランゲルハンス島の午後』の中で「小確幸」、小さいけれども、確かな幸福という概念を提示しています(『うずまき猫のみつけかた』にもエピソードがあります。私の好きな言葉です)。現在注目されている「ウェルビーイング」にも関連するところですが、人それぞれ何を幸せに感じるかは違います。しかし、「図書館」が幸せを感じる・発見する一つの場になると確信しています(何故と思われたら、実際に図書館に足をお運びください)。

中央図書館のトイレ改修工事のため、臨時休館や騒音などでご迷惑をおかけしていますが、残すところは1階の男子トイレのみとなりました。秋には完成予定ですので、気持ちよく利用していただければと思います。近隣の美術館・博物館とのコラボ展示や、1～2か月ごとに替わるテーマコーナー、時事コーナーも用意しています。また、金曜日午前と土曜日午後は、「おやこタイム」です。小さなお子さんが大きな声をだしても、温かく見守りながら利用する時間ですので、赤ちゃんや小さなお子さんとご一緒に、気兼ねなく中央図書館にお越しください。多くの皆さんの利用をお待ちしております。

(梅沢 一茂)

## 中央図書館所蔵資料紹介 No.177 『つれづれ草貫旨』

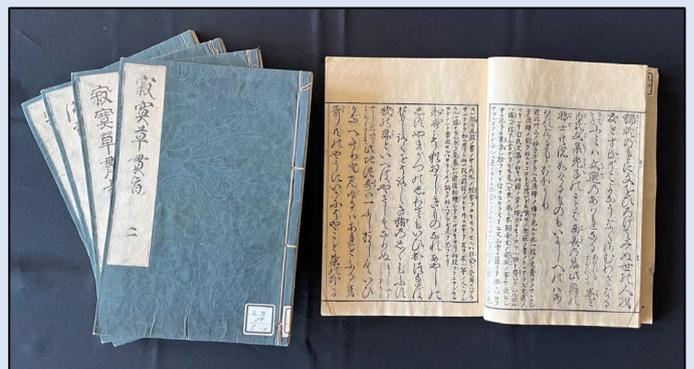
### 江戸時代のベストセラー！

「つれづれなるままに」、でおなじみの冒頭は、古典文学の中でも思わず口に出したくなるフレーズではないでしょうか。

鎌倉時代末期に兼好法師が著した「徒然草」は、室町時代中期に歌人仲間で人気が出て、写本が読み継がれました。やがて江戸時代になり印刷技術が進むと、注釈を付した本が出版され、広く普及します。その数は、古典文学のうち最も多いとされ、しかも儒学者・僧侶・歌学者そして俳諧師など多様な人々が解説を試みました。

「徒然草」は、兼好の自然観・仏教観・恋愛観等、また有職故実(朝廷や武家に伝わる風俗や儀式)についても書き留められ、兼好を取り巻く当時の様子が生き生きと描かれています。

本書の注釈者は不明ですが、各巻とも語句に多くの注を付し、時には内容を掘り下げて丁寧に解説を加えています。



『つれづれ草貫旨』全5巻 元禄6年(1693) 洛陽書林

乱世を生き、歌人でもあった兼好は、無常なこの世においていかに生きて行くべきか、あれこれ模索するなかで「徒然草」を書き上げました。人間の営みを鋭く観察する感性は、700年を経た今読んでも古びることなく、私達に語りかけてきます。

“人生は無常なものである。だからこそ愉しく生きて行こうじゃないか”

(小熊よしみ)

☆8月1日(火)から8月30日(水)まで中央図書館エントランスギャラリーで展示します。

## 夏休み図書館ボランティア募集

カウンターや本の整理など、図書館の仕事を体験してみませんか！

- 期 間** 8月7日(月)から8月18日(金)までの間で希望する日(土日祝日及び休館日を除く)
- 時 間** ①午前9時30分～11時30分  
②午後1時30分～3時30分
- 場 所** 市内7か所の図書館
- 内 容** カウンター業務、書架整理、書評(ポップ)書き、資料の装備など
- 対 象** 中学生以上
- 定 員** [1日あたり・午前午後それぞれ] 中央図書館・西・南・北地域図書館は各4名(先着順)、中之島・寺泊・栃尾地域図書館は各3名(先着順)
- 申込み** 7月11日(火)から7月26日(水)までに、希望者本人が希望する図書館に申込書を直接持参してください。  
※詳しくは長岡市立図書館のホームページをご覧ください。

## おはなし会

中央図書館では「おはなし会」を開催しています。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。



- ◆毎週火曜日 午前10時30分～ 親子お話工作
- ◆毎週水曜日 午後3時30分～ おはなしくるりんぱ
- ◆毎週木曜日 午前10時30分～ チビッコタイム
- ◆毎週金曜日 午前10時30分～ おはなしくるりんぱ (0～3歳向け)
- ◆第1～第3土曜日 午後2時30分～ 親子お話工作
- ◆第4土曜日 午後2時30分～ 紙芝居ドン!パラリン
- ◆第5土曜日 午後2時30分～ つぐみの会
- ◆第1日曜日 午後2時30分～ 日曜おはなし会

## CD・DVD 専用返却ポストの新設

中央図書館では、4月から休館日や夜間にCDやDVDがポスト返却できるようになりました。

これまで本はポスト返却できましたが、CDやDVDは破損の恐れがあり、窓口での返却をお願いしていました。

中央図書館の返却ポストの隣に、CD・DVD専用の返却ポストを新設しましたのでどうぞご利用ください。



上の写真の矢印部分を拡大



## 映画会

中央図書館2階講堂  
入場無料・申込み不要  
開場は午後1時30分から

10月11日(水) 午後2時～3時35分  
「北極のナヌー」

2007年/アメリカ(ドキュメンタリー・84分)

## 読書週間映画会

10月27日(金) 午後2時～4時5分  
「教 誨 師」

2018年/日本(人間ドラマ・114分)

